

# 名古屋電気学園 クラブ活動だより

愛知工業大学  
愛知工業大学名電高等学校  
愛知工業大学附属中学校  
愛知工業大学情報電子専門学校

平成 25 年度版

(平成 26 年 3 月 31 日)

## 全国優勝 3 件

全国優勝を称える内部表彰として学園表彰があり、平成 25 年度は 3 件に上りました。

### ◇大学男子卓球部がインカレ優勝

昨年 6 月 30 日、愛知県豊田市のスカイホール豊田で行われた「全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）」決勝で青森大学を 3 - 2 で破り、13 年ぶり 5 回目の優勝に輝きました。

決勝の青森大学戦は接戦となりましたが、吉田雅己選手（経営学科 1 年）、森本耕平選手（同 4 年）と吉村真晴選手（同 2 年）のペアが安定した力を発揮、最後は主将の森本選手がきっちり締めました。また、準決勝の対明治大学戦、吉村選手がロンドン五輪日本代表の丹羽孝希選手と対戦し、注目を集めました。接戦の末 3 - 2 で吉村選手が制しました。

鬼頭明監督は「森本主将をはじめ選手全員が優勝へ向けて気持ちが最高にまとまっていたのが勝因。地元で恩返しできてよかった」と話していました。大会には全国から 48 大学が参加しました。



インカレで 13 年ぶり 5 回目優勝の大学男子卓球部

### ◇附属中卓球部は 3 連続全国制覇

附属中卓球部は 3 月 28、29 日、島根県で行われた第 15 回全国中学選抜卓球大会決勝で青森山田（青森県）を 3 - 1 で破り、昨年 3 月に奈良市で開かれた大会に続いて 2 連覇。また、昨年夏に岐阜市で開かれた全国中学卓球での優勝をはさみ 3 連続全国制覇を果たしました。団体決勝は橋本一輝選手（1 年）、木造勇人選手（2 年）が連続して勝ち、勢いに乗りました。複は落としたものの、4 番手の高見真己選手（2 年）が青森山田の主将を破り、優勝を決めました。昨年夏の全国中学卓球は男子団体決勝で青森山田を 3 - 1 で破り、15 年ぶり 7 度目の優勝で、男子シングルスでも木造選手が個人優勝しています。

真田浩二監督は「相手は 3 回とも青森山田。向こうもトップレベルの選手をそろえており、オーダーに苦心したが、選手全員がやるべきことをやって頑張ってくれたのが勝因」と話していました。



選抜連覇を成し遂げた附属中卓球部の木造選手ら。昨年 9 月のお祝いの会で

### ◇高校将棋部女子も連覇

高校将棋部女子は第 49 回全国高校将棋選手権大会（文化庁など主催）の女子団体戦決勝で函館中部（北海道）を 3 - 0 で下し、昨年の優勝に続き連覇を果たしました。

女子団体戦には最多 38 校が出場。名電のメンバー 3 人は前年優勝の水野翠選手（3 年）、遠山侑里選手（2 年）に、ことしから水野さんの妹の葵選手（1 年）が加わりレベルアップしました。名電は予選を 1 位で通過、準決勝は昨年一番苦しめられた菰山（静岡）でしたが相手のミスもあり逆転勝ち。同じ愛知勢の南山が予選を 2 位で通過、愛知勢同士の決戦も予想されましたが、南山が準決勝で函館中部に敗れ、顧問の原野照久教諭は「どうしても連覇したいという執念で頑張ったのが勝因」と話し、水野翠選手は「ことしで最後なので優勝できてうれしい」と喜んでいました。

選手権は昨年 7 月 31 日～8 月 1 日に長崎県で開かれ、男女合わせ史上最多の 434 人が参加。名電高校は男女そろっての出場で話題を集めました。男子は及びませんでした。



後藤理事長に優勝報告する高校将棋部女子

お知らせ 名古屋電気学園の設置校はクラブ活動が大変盛んで、各種大会で好成績を収めています。年 1 回、その一端をご報告します。

# 附属中卓球部春夏連覇、お祝いの会から

(お祝いの会は昨年9月8日、若水キャンパス・ランチルームで開かれました)

## 真田浩二監督のあいさつ全文

今大会は、春も優勝していたので世間では「名電が勝つのではないか」と言われていました。選抜が終わった瞬間から追われる立場になり、「夏は名電を倒そう」と全国の強いチームが丸となって向かってくるので、どれだけ強い気持ちで立ち向かえるか。そして「今年は優勝でしょう」と周りから言われるはずだと、三月時点からずっと選手たちに言ってきました。そう言われた時に気持ちよく「はい優勝します」と自信を持って言えるのか、そこが勝負でした。

三月から八月までみんなで話して、プレッシャーに打ち勝てる気持ちの準備が一人ひとりでできてきました。

夏休みに入ってから毎日



真田浩二監督

近くの上野天満宮に全員で行き「この夏、自分がどうあるべきか」「自分がやるべきことをすべてやる」と神様の前で宣言して、それを岐阜の地で全員が出せたのがこのような結果になったのだと思います。

いろいろな方に「優勝しておめでとう」と言ってもらい、それだけでも、うれしくてありがたいのですが、このような会を開いていただき、「また次に頑張ろう」という気持ちになりました。

2020年東京オリンピックが決まりました。生徒たちと話している中で、みんな日本代表となって世界に出て、最終的にはオリンピックに出てメダルを取りたいという目標を日ごろから語っています。スポーツの中で脂がのりきっている20歳から25歳の時期にオリンピックを迎えられるのは大きなモチベーションになります。夏、優勝する前から、私たちの目標は「まず5連覇しよう」と選手たちと言っておりました。来年、再来年と勝ち続けていけるように毎日精進して、谷口の寮でオリンピックを常に頭に入れながら頑張っていきたいと思います。

## 私たちの目標は5連覇

## 中学生にお祝いの言葉を贈る後藤淳理事長



## 常に上を向いて精進を

### 後藤淳理事長お祝いの言葉

3月に続いて全国大会で優勝しました。ことは岐阜へ見に行きましたが、よく頑張りました。おめでとう。

中学生が一番伸びる時で成長が早い。いろいろなものが身に付く。体が大きくなり技も身に付く時です。体力と技術は練習で身につくが、試合で一番大事なのは心・技・体の心。これは一度にできるものではない。試合に向かってどう対応するか、団体になった時にどうまとまっていくか、という気持ちです。練習することによって自信がつく。慢心しているとそこで終わってしまう。

常に上を向いていかななくてはいけない。オリンピックが7年後に東京に決まりました。その舞台に向かって君たちには目標が一つ増えました。そういうものに近づく努力をしてほしい。今後一層の精進を望みます。



岐阜市で開かれた夏の  
全国中学卓球で団体  
優勝し春夏2連覇とし  
た附属中卓球部

## 平成24年度の学園表彰(12月以降の3件)

◇附属中卓球部 平成24年度全日本卓球選手権(JOCジュニアオリンピックカップ)で松山祐季、木造勇人組が男子ダブルス優勝=平成24年12月17日授与

◇大学男子卓球部 第79回全日本大学総合卓球選手権個人の部男子ダブルスで森本耕平、吉村真晴組が優勝。第9回全日本学生選抜卓球選手権男子シングルスで吉村真晴選手が優勝、初の学生ナンバーワン=平成24年12月18日授与

◇附属中フェンシング部 川北信海選手が第20回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会カデ男子エペ(17歳以下)で優勝=平成25年2月15日授与



後藤理事長から海外遠征補助をうけるフェンシング部の川北信海選手

# 「卓球の名電」膨らむ期待

高橋治朗会長が  
お祝いの言葉



附属中卓球部部員を激励する高橋治朗  
クラブ活動後援会会長㊤

附属中卓球部が春の第14回全国選抜卓球大会で優勝した祝賀会は4月24日、名古屋ガーデンパレスで学園関係者ら約120人が出席して開かれ、後藤淳理事長らが学園創立100周年に花を添える中学生の快挙をたたえました。祝賀会には学園クラブ活動後援会の高橋治朗会長にも出席いただきました。高橋会長からは「今後は卓球を見に行く楽しみも増えました。学園の魅力がさらに増すよう中高大力を合わせて頑張ってください」とお祝いと励ましの言葉をいただきました。席上、大西尚弥主将は「春夏連続で優勝して本物になりたい」と力強く決意を述べ、夏の大会で約束を果たしました。

一方、大学男子卓球部が6月の全日本大学総合卓球選手権大会(団

体の部)で13年ぶり5回目の優勝をした大学日本一を祝う会は7月20日、メルパルク名古屋で開かれ、後藤淳理事長、後藤泰之学長ら大学関係者、卓球部OB、父母ら100人余りが出席しました。ご出席いただきました高橋治朗・学園クラブ活動後援会会長は「実力をフルに発揮した結果だと思います。連続優勝を楽しみにしています」とお祝いの言葉を述べていました。

名古屋電気学園へ来て10年、最後の年になる森本耕平主将は「10年間の恩返し、鬼頭明監督を日本一の監督にしたいとの思いがありました。素晴らしい舞台でしびれる試合でした」と振り返っていました。



大学日本一の学生たちに  
お祝いを述べる高橋会長

## 将棋部女子の活躍祝う

全国大会連覇の高校将棋部のお祝いの会は9月12日、高校校長室で開かれました。2連覇を成し遂げた女子3人、全国大会では惜しくも予選敗退した男子3人、それに顧問の原野照久教諭が出席しました。

学園幹部も同席する中、後藤淳理事長から原野顧問や水野翠さんに表彰状や盾が贈られ、懇談会に移りました。後藤淳理事長は「2連勝、おめでとう」と述べ、「どこで練習しているの」「コンピューターには勝てる？」などと質問していました。

後藤淳理事長の計らいで特製ケーキがプレゼントされ、高校生たちはびっくり。ケーキを食べながら、話も弾み、翠さんが来春卒業するため、来年のチームづくりも話題になっていました。水野さん姉妹は刈谷市で和菓子店を営む父の影響で小学生のころに将棋を始めました。特に翠さんはアマ二段で、日本将棋連盟の研修会にも参加しています。



後藤淳理事長と将棋談義をする将棋部女子部員

## クラブ表彰

(クラブ表彰は全国大会出場を果たした団体・個人に対し、活躍を願って行う内部表彰制度です。過去1年分を授与日付ごとにまとめました)

平成24年12月17日

【高校】

ボウリング部

(第19回全国高校対抗ボウリング選手権)

平成25年2月15日

【高校】

自転車競技部

(第36回全国高校選抜自転車競技大会)

相撲部 (第64回全国高校相撲選抜大会)

剣道部 (第22回全国高校剣道選抜大会)

スキー部 (第62回全国高校スキー大会)

卓球部 (第40回全国高校選抜卓球大会)

フェンシング部

(第37回全国高校選抜フェンシング大会)

ウエイトリフティング部

(第28回全国高校ウエイトリフティング競技選手権)

平成25年3月19日

【高校】

将棋部

(第21回全国高校文化連盟新人将棋大会)

チアリーディング部

(第23回全国高校チアリーディング選手権)

平成25年5月28日

【高校】

情報デザイン部 (ロボカップジャパンオープン

2013 東京レスキューAセカンダリ部門)

メカニカルアーツ部(同ダンスセカンダリ部門)

将棋部 (第49回全国高校将棋選手権)

## クラブ表彰つづき

平成 25 年 7 月 20 日

【高校】

将棋部 (第 49 回全国高校将棋選手権)  
ボウリング部 (第 37 回全日本ボウリング選手権)

日本選手権に出場したチアリーディング部は各種のイベントで活躍、シンガポールの留学生にも歓迎の演技を披露していました



チアリーディング部  
(2013 JAPAN CUP チアリーディング日本選手権)



7月20日のクラブ表彰に出席した教諭、生徒

ウエイトリフティング部女子  
(第 15 回全国高校女子ウエイトリフティング競技選手権)

写真部 (第 37 回全国高校総合文化祭)

バレーボール部 (高校総体)

フェンシング部 (〃)

相撲部 (〃)

卓球部 (〃)

ウエイトリフティング部男子 (〃)

自転車競技部 (〃)

陸上競技部・短距離 (〃)

【中学】

フェンシング部 (第 26 回全国少年フェンシング大会)

相撲部 (全国都道府県中学生相撲選手権大会)

平成 25 年 9 月 6 日

【高校】

野球部 (全国高校野球選手権)  
水泳部 (高校総体)  
ゴルフ部 (全国高校ゴルフ選手権個人の部)  
卓球部 (13 ベトナムゴールデンラケット大会＝海外遠征費授与)

【中学】

ゴルフ部 (全国中学ゴルフ選手権個人の部)

平成 25 年 9 月 20 日

【高校】

吹奏楽部 (全日本吹奏楽コンクール＝銀賞)

平成 25 年 11 月 21 日

【高校】

吹奏楽部 (第 26 回全日本マーチングコンテスト＝銀賞)

吹奏楽部のクラブ表彰▶



平成 25 年 12 月 19 日

高校の将棋部、水泳競技部、ボウリング部の 3 部をクラブ表彰、中学・高校フェンシング部に対する海外遠征費の授与を後藤淳理事長から行いました。

将棋部は 1 月 30 日から函館市で開かれた第 22 回全国高校文化連盟将棋新人大会個人に 1 人が出場。

水泳競技部は 3 月に東京で開かれた第 36 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会競泳競技個人種目に 8 人が出場。

ボウリング部は 12 月 20 日から川崎市で開かれた第 20 回全国高校対抗選手権チーム戦に 4 人が



高校の将棋部、水泳競技部、ボウリング部に対するクラブ表彰

出場しました。

フェンシング部に海外遠征費の授与

フェンシング部の海外遠征は高校生 3 人、中学生 1 人の計 4 人が 12 月 7 日から欧州で開かれた 2 つの大会に出場しました。

このうち高校 1 年の川北信海君 (日本ランキング 1 位) はコペンハーゲンでのカデ (17 歳以下) サーキット選手権で男子エペに出場、5 回戦敗退ながら日本人トップの 19 位でした。



フェンシング部に対する海外遠征費の授与

## クラブ表彰つづき

平成 26 年 3 月 20 日

学園は春の全国大会出場に伴うクラブ表彰を北校舎校長室で行いました。表彰されたのは高校 11 部、中学 2 部の計 13 部です。校長室には各部の顧問と主将らが勢ぞろいし、後藤淳理事長がそれぞれ言葉をかけながら順番に手渡しました。高校の部活に対しては高校同窓会からも激励、加藤訓会長が手渡しました。後藤理事長は「春の大会は 1 年の総決算。来季へ向け力を試すよい機会

クラブ表彰の後、後藤淳理事長を囲み記念撮影



す。それぞれライバルがいると思うがしっかり頑張ってください」と全員を励ましていました。

表彰を受けたクラブと大会は次の通り。

### 【高校】

**卓球部** 第 41 回全国高等学校選抜卓球大会

### ウエトリフティング部

第 29 回全国高等学校ウエトリフティング競技選抜大会

### アーチェリー部

第 32 回全国高等学校アーチェリー選抜大会

### 自転車競技部

第 37 回全国高等学校選抜自転車競技大会 トラック ロード

### フェンシング部

第 38 回全国高等学校選抜フェンシング大会

**相撲部** 平成 25 年度全国高等学校相撲選抜大会

**剣道部** 第 23 回全国高等学校剣道選抜大会

**スキー部** 第 63 回全国高等学校スキー大会

**ゴルフ部** 平成 25 年度全国高等学校ゴルフ選手



後藤淳理事長から激励を受ける各クラブの指導者や生徒たち

### 権春季大会

### メカニカルアーツ部

ロボカップジュニア日本大会 2014 (レスキューA セカンダリ部門)

### システムコンピュータ部

ロボカップジュニア日本大会 2014 (レスキューA セカンダリ部門)

### 【中学】

**卓球部** 第 15 回全国中学選抜卓球大会

### メカニカルアーツ部

ロボカップジュニア日本大会 2014 (レスキューB)

## 平成 25 年度大学クラブ活動表彰 (卒業生)

### 陸上競技部

萱垣 義樹 第 45 回東海学生陸上競技対校選手権大会 10000m 優勝  
第 40 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 10000m 優勝  
第 75 回東海学生駅伝対校選手権大会第 7 区区間賞  
鈴木 健太 第 40 回東海学生陸上競技秋季選手権大会 5000m 優勝、1500m 準優勝

### ラグビー部

大場 頌平 平成 25 年度東海学生ラグビーフットボールリーグ・ベスト 15 (ウィング) 選出  
水元 大樹 同・ベスト 15 (ロック) 選出

### フェンシング部

二宮 司 第 63 回全日本学生フェンシング王座決定戦エペ団体第 4 位メンバー  
第 63 回関西学生フェンシングリーグ戦エペ団体優勝メンバー

### 卓球部

北村 祐馬、森本 耕平、柳井 陽介 第 83 回全日本大学総合卓球選手権大会団体優勝メンバー

### A I T E P

遠藤 大介、小山 正善、瀧川 洋平、細川 政貴、三好 宏明 ロボコンやまなし 2013 優勝



全日本大学駅伝対校選手権大会東海地区選考会で力走する萱垣義樹選手

## 平成 25 年度大学クラブ活動表彰（在校生）

### 【団体】

- 競技スキー部**（森本 将太、中屋 貴大、荒河 大輝、西口 陽平、森 政貫、田村 謙介、渋谷 尚吾、梅本 蓮）第 59 回中部日本学生スキー選手権大会男子 1 部 総合優勝
- フェンシング部**（上野 公希、浦林 昂平、越水 裕亮）第 63 回全日本学生フェンシング王座決定戦エペ団体第 4 位、第 63 回関西学生フェンシングリーグ戦エペ団体優勝
- 卓球部**（柴田 直人、加藤 由行、共田 準吾、吉村 真晴、藤村 友也、吉田 雅己）第 83 回全日本大学総合卓球選手権大会団体 優勝
- 洋弓部**（岩坂 謙吾、馬場 博晃）第 52 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦男子団体ベスト 8、2013 年度東海学生アーチェリー王座出場校決定戦男子団体優勝  
2013 年度東海学生アーチェリー選抜選手権大会男子団体優勝

### 【個人】

- 陸上競技部**・吉田 新規 東海学生陸上競技春季大会 3000m 優勝  
第 75 回東海学生駅伝対校選手権大会第 5 区区間賞
- 競技スキー部**・四方 元幾 FIS ワールドカップ フリースタイル モーグル ルカ大会第 22 位（日本人第 3 位） レイクプラシッド大会第 33 位（日本人第 2 位）  
※全日本ナショナルチームメンバー
- ラグビー部**・川崎 康隆 平成 25 年度東海学生ラグビーフットボールリーグ・ベスト 15（センター）選出  
青柳 大地 平成 25 年度東海学生ラグビーフットボールリーグ・ベスト 15（スクラムハーフ）選出
- 洋弓部**・田崎 亘悠 2013 年度東海学生アーチェリー個人選手権大会男子個人優勝 / 2013 年度東海学生アーチェリー選抜選手権大会男子個人優勝 / 2014 年度東海学生アーチェリーインドア選手権大会男子個人優勝 / 第 52 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦男子団体ベスト 8 メンバー / 2013 年度東海学生アーチェリー王座出場校決定戦男子団体優勝メンバー
- 犬飼 智也 2013 年度東海学生アーチェリー個人選手権大会男子個人準優勝 / 第 52 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦男子団体ベスト 8 メンバー / 2013 年度東海学生アーチェリー王座出場校決定戦男子団体優勝メンバー
- 長澤 宏平 第 24 回全日本学生アーチェリー東日本大会第 4 位 / 2014 年度東海 学生アーチェリーインドア選手権大会男子個人準優勝 / 第 52 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦男子団体 ベスト 8 メンバー / 2013 年度東海学生アーチェリー王座出場校決定戦男子団体優勝メンバー
- メディア情報研究会**・牧野 聖久  
愛知県印刷工業組合主催「第 4 回ポスターグランプリ」協賛会社賞受賞



東海学生アーチェリー個人選手権優勝の田崎亘悠選手と 2 位犬飼智也選手

## 大学生 平成 25 年度の主な対外競技成績

### 卓球部

- ▼平成 25 年度東海学生卓球選手権 [男子ダブルス] 優勝 森本耕平・吉村真晴 2 位 柴田直人・吉田雅己 [男子シングルス] 優勝 吉村真晴 2 位 吉田雅己 [女子シングルス] 優勝 酒井詩音
- ▼ ITTF ワールドツアーアジアオープン [男子シングルスアンダー 21] 3 位 吉田 雅己 [男子ダブルス] 優勝 吉村真晴・上田（青森大）
- ▼第 83 回全日本大学総合卓球選手権 [男子団体] 優勝
- ▼第 27 回ユニバーシアード競技大会 [男子団体] 第 2 位
- ▼ ITTF ワールドツアー中国オープン [男子アンダー 21] 3 位 吉村真晴
- ▼第 80 回全日本大学総合卓球選手権大会 [男子シングルス] 準優勝 藤村 友也 ベスト 4 吉田 雅己 [女子シングルス] ベスト 8 酒井 詩音
- ▼平成 25 年度全日本卓球選手権 [男子ダブルス] ベスト 8 森本 耕平・吉村 真晴ペア [男子シングルス] ベスト 8 吉田 雅己 [ミックスダブルス] 準優勝 吉村 真晴・石川 佳純（JA 全農）

## 陸上競技部

- ▼第79回東海学生陸上競技対校選手権 [男子10000m] 優勝 萱垣義樹 [男子3000mSC] 3位 吉田新規
- ▼第45回全日本大学駅伝対校選手権大会東海地区選考会 [男子団体戦] 総合3位
- ▼第40回東海学生陸上競技秋季選手権大会 [男子個人]1500m 第2位 鈴木 健太 第3位 松井 貴志 5000m 優勝 鈴木 健太 第4位 佐野 恭平 10000m 優勝 萱垣 義樹
- ▼第75回東海学生駅伝対校選手権大会 [男子団体] 総合 第2位 (全21校)

## 洋弓部

- ▼2013年度東海学生アーチェリー連盟王座出場校決定戦本選 [男子団体] 優勝
- ▼第24回全日本学生アーチェリー東日本大会 [男子個人] 第4位 長澤 宏平

## ゴルフ部

- ▼中部学生ゴルフ4月定例会 [男子個人]2位 荒木暉久 3位 大橋和真
- ▼中部学生ゴルフ選手権競技 [男子個人] 第7位 大橋 和真 (全91名)

## バドミントン部

- ▼第117回東海大学バドミントン選手権 [男子団体]1部リーグ 第2位
- ▼第61回東海学生バドミントン選手権 [男子シングルス] ベスト4 中嶋大輔

## 自動車部

- ▼2013 DU ダートトライアル [個人] 学生クラス 総合1位
- ▼2013年度全中部学生ジムカーナ選手権 [団体] 第3位

## レーシングカート部

- ▼2013年全日本カート選手権 FS-125 部門第2戦 [個人]2位 長野大地
- ▼2013CIK-FIA ASIA-PACIFIC KF CHAMPIONSHIP KART RACE IN JAPAN [個人]2位 佐伯新

## 弓道部

- ▼第56回東海学生弓道選手権 [男子個人] 決勝出場

## バスケットボール部

- ▼東海学生バスケットボールリーグ戦愛知リーグ・エイトリーグ [男子団体] 愛知リーグ 4勝0敗 エイトリーグ出場権決定戦 1勝1敗敗退

## 競技スキー部

- ▼Australian Freestyle Mogul Championships [男子個人] 第1戦7位 (50名中) 四方元幾 第2戦9位 (50名中) 四方元幾
- ▼2013朝里カップ大回転スキー選手権 [男子個人] 優勝 横井 保志 第11位 浜田 尚吾

## 柔道部

- ▼第60回東海学生柔道夏季優勝大会 [男子団体]2部 3位
- ▼第61回東海学生柔道冬季優勝大会 [男子団体]2部 同率3位 (全9校)

## ボウリング部

- ▼内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪第42回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 [混合4人チーム戦] 第5位 (全54チーム)

## 硬式野球部

- ▼愛知大学野球秋季リーグ戦団体戦 [男子団体]2部A 2位

## ラグビー部

- ▼2013東海学生ラグビーフットボールリーグ戦 [男子団体] 予選リーグ 4勝1敗 決勝リーグ 1勝2敗 東海学生リーグA1部 第3位 (全6校)

## フェンシング部

- ▼第63回関西学生フェンシングリーグ戦 (フルーレリーグ) [男子団体] 第3位 (1部) [男子個人] 第6位 上野 公希
- ▼第63回関西学生フェンシングリーグ戦 (エペリーグ) エペ全日本予選会 [男子団体] 優勝 (1部) [男子個人] 第6位 二宮 司

## ソフトテニス部

- ▼第87回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会 [男子団体]2部残留 [女子団体]3部残留

## 水泳部

- ▼中部学生秋季記録会 [400mフリーリレー] 第4位 山田・早川・四ツ谷・池田 [800mフリーリレー] 第6位 山田・早川・四ツ谷・池田 [400mメドレーリレー] 第7位 山田・夏目・池田・工藤

## フットサル同好会

- ▼WING CUP [男子団体] 優勝 (全6チーム)

## トピック

# 吉村真晴選手 混合ダブルス準優勝

ベスト8入りの吉田雅己選手（写真はいずれも「卓球王国」提供）



学園の各設置校卓球部は東京体育館でとし1月14～19日開かれた全日本卓球選手権に総勢31人が参加しました。このうち大学男子卓球部では、吉村真晴選手（経営学科2年）が混合ダブルスで石川佳純選手（全農）とペアを組み、昨年に続き準優勝しました。

また男子シングルスでは吉田雅己選手（経営学科1年）が六回戦で全日本チャンピオンの丹羽孝希選手（明大）を破りベスト8、高校の上江洲光志選手（3年）がベスト32に勝ち上がり、5回戦で丹羽選手と対戦しましたが敗れました。



石川佳純選手（全農）とペアを組み、準優勝した吉村真晴選手

男子ダブルスでは森本耕平選手（経営学科4年）・吉村選手のペアがベスト8でした。ジュニア男子の部には附属中、高校から合わせて11人が参加、松下大星選手（高校2年）がベスト16に入りました。ちなみに同部の優勝は吉村選手の弟・吉村和弘選手（野田学園高）でした。

男子ダブルスでは森本耕平選手（経営学科4年）・吉村選手のペアがベスト8でした。

ジュニア男子の部には附属中、高校から合わせて11人が参加、松下大星選手（高校2年）がベスト16に入りました。ちなみに同部の優勝は吉村選手の弟・吉村和弘選手（野田学園高）でした。

## 附属中卓球部・木造選手、欧州で大健闘



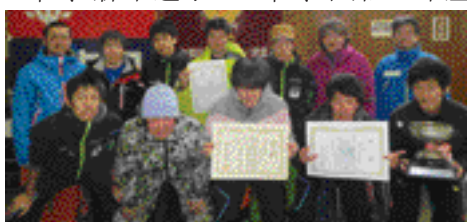
附属中卓球部の木造勇人選手（2年）はITTFグローバルジュニアサーキットで欧州を転戦、大健闘しました。2月12日～16日のチェコジュニア&カデットオープンではジュニア男子シングルスで準優勝＝写真。翌週19日～23日のスウェーデンジュニア&カデットオープンでもカデット男子シングルスで優勝しました。

チェコの大会では、ヨーロッパのジュニアチャンピオンをはじめ、ヨーロッパのトップ選手を倒し決勝に進出しました。決勝では、ポルトガルの中国帰化選手に2-0とリードしましたが、体力を消耗し3セット目から4セット連続で失いました。2-4の逆転負けとなりましたが、真田浩二監督は「決勝戦当日、ダブルスとシングルス合わせて8試合あり、決勝戦スタートが20時30分だったこともあり、体力が切れました。しかし、海外の大会を勝ち抜くためには、体力が必要な中で、大健闘でした」と称賛していました。

## 中部日本学生スキー選手権、5年ぶり13度目総合優勝

大学競技スキー部は長野県白馬村で1月25～26日に開かれた第59回中部日本学生スキー選手権で5年ぶり13度目の男子総合優勝を果たしました。

2日間全種目でトータルに得点を稼ぎ、特に大回転で主将の森本将太選手（経営学科3年）が初優勝したほか、スーパー大回転で横井保志選手（経営学科4年）が2位、森本選手が3位、回転で中屋貴大選手（経営学科



中部日本学生スキー選手権で5年ぶりに総合優勝した大学競技スキー部

3年）が2位、横井選手が3位に入るなどチーム力を発揮して81点を獲得、総合優勝を飾りました。

## 高校フェンシング部、選抜準優勝

第38回全国高等学校選抜フェンシング大会に出場した高校フェンシング部は予選プールを3勝0負として決勝トーナメントに進出、準決勝まで勝ち上がりましたが、決勝で東亜学園（東京）に27×45で敗れ、惜しくも準優勝でした。大会は3月21日～23日、秋田市立体育館で開けられました。

附属中学相撲部は8月8日、大垣市武道館で開かれた東海中学総体第35回相撲競技で団体は2年ぶり4回目、個人では3年生の長谷川聖記君が優勝しました。団体決勝トーナメントの決勝戦で附属中は愛知・北部中を2-1で破りました。

高校のシステムコンピュータ部は11月9、10日会津大学で開かれたパソコン甲子園プログラミング部門に出場しました。バレー部は第63回中部日本6人制バレーボール総合選手権で14年ぶりの準優勝でした。写真部は第1回コマ撮りコンテストに応募、「テスト勉強」が第2位となりテレビなどで紹介されました。



附属中学相撲部

※紹介した以外にも多くのクラブがそれぞれの分野で頑張っており活動しています。